令和９年度

（２０２７年度）

横浜国立大学

大学院先進実践学環

（修士課程）

社会人特別選抜

学生募集要項

https://ynuifgs.ynu.ac.jp

社会人特別選抜入試日程の概要

（入試日程）

入学資格審査申請期間	令和8年10月19日（月）～令和8年10月20日（火）　※申請は該当者のみ
入学資格審査結果通知発送日	令和8年10月23日（金）

※入学資格審査の対象は、要件（C）、出願資格（５）の２、及び（８）に該当する者のみです。

出願期間	令和8年11月2日（月）～令和8年11月6日（金）
社会人特別選抜試験日	令和8年12月5日（土）
合格者発表日	令和8年12月18日（金）　14時頃
入学手続期間	令和9年3月8日（月）～令和9年3月12日（金）

－　ChatGPT をはじめとする生成AI の利用について　－

横浜国立大学では、学生に対して、ChatGPT などの生成AI に対する注意喚起を行っています。入学試験に関しても、下記の注意事項を踏まえて、必要な提出書類等の作成を行うようお願いします。

なお留学生の皆さんは、下記の他、必要に応じて、各国・地域の方針・法令等も踏まえるようお願いします。

注意事項

生成AI に入力した情報は、AI の学習に利用されたり、意図せず漏洩したりする恐れがあります。また生成AI の出力する情報は、出典が明らかではなく、虚構や、偏った主張、倫理上問題のある表現などが含まれている危険性があります。

出願書類等の作成に当たっては、横浜国立大学大学院の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を確認し、不正が疑われたり、入学後に学修上のミスマッチが起きたりしないよう、自らの責任において十分に考えたものを提出してください。

（目次）

Ⅰ 社会人特別選抜学生募集要項 3
１．募集人員及び募集する研究テーマ 3
２．出願資格 4
３．選抜方法 6
４．出願手続 6
５．合格者発表 9
６．入学手続 9
７．受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者の配慮申請について 10
８．入学料及び授業料の免除・徴収猶予制度について 10
９．大学院設置基準第１４条に定める教育方法の特例による教育の実施について 10
１０．長期履修学生制度について 11
１１．個人情報の取扱いについて 12
１２．安全保障輸出管理について 12
１３．不測の事態が生じた場合における措置について 13
１４．その他注意事項 13
Ⅱ 先進実践学環学位プログラムのカリキュラム 15
Ⅲ 先進実践学環の指導教員一覧 16
○ 入学検定料支払方法のご案内 24
○ キャンパス案内図 25

Ⅰ 社会人特別選抜学生募集要項

令和９年度（2027 年度）横浜国立大学大学院先進実践学環（修士課程）の社会人学生を次の要領によって募集します。

１．募集人員及び募集する研究テーマ

（１）募集人員　若干名

（２）募集する研究テーマ

（令和９年度（2027 年度）４月入学）

先進実践学環の研究テーマ	指導教員が担当する学府・専攻										
	国際社会科学府			理工学府			環境情報学府			都市イノベーション学府	
	経済学専攻	経営学専攻	国際経済法学専攻	機械・材料・海洋系工学専攻	化学・生命系理工学専攻	数物・電子情報系理工学専攻	人工環境専攻	自然環境専攻	情報環境専攻	建築都市文化専攻	都市地域社会専攻
応用 AI		○		○		○			○		
社会データサイエンス	○	○	○				○		○		
リスク共生学			○	○			○	○	○		
国際ガバナンス		○	○	○			○				○
成熟社会	○	○	○							○	
人間力創生										○	○
横浜アーバニスト		○								○	
集積エレクトロニクスと社会展開		○		○		○					

注１：上記の○印が付いている研究テーマから、入学後の指導を希望する教員（以下「志望指導教員」という。）を選んで願書に記入してください。各研究テーマの指導教員については「**Ⅲ　先進実践学環の指導教員一覧**」を参照してください。

注２：複数の研究テーマ、教員に出願することはできません。

注３：**志願者は、志望指導教員と出願前に必ず連絡を取り、入学後の研究等について相談を行ってください。**

注４：研究テーマによっては、選抜の結果、指導教員の選択は志願者の希望に添えない場合があります。

２．出願資格

以下の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者

［基礎資格］

次にあげる各項の一つに該当する者

（１）学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者または当学環入学の前までに卒業見込みの者

（２）学校教育法第 104 条第 7 項の規定（大学改革支援・学位授与機構）により学士の学位を授与された者または当学環入学の前までに学士の学位を授与される見込みの者【(注１）参照】

（３）外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者または当学環入学の前までに修了見込みの者

（４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者または当学環入学の前までに修了見込みの者

（５）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者または当学環入学の前までに修了見込みの者

（５）の２　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価を受けたものまたはこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者または当学環入学の前までに学士の学位を取得する見込みの者【(注３）参照】

（６）専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上あることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者または当学環入学の前までに修了見込みの者

（７）文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）

（８）当学環において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、当学環入学の前までに 22 歳に達するもの【(注３）参照】

［要件］

次の要件 (A) ～ (C) のいずれかに該当し、かつ出願資格の一つに該当する者で、合格した場合は入学を確約できる者。さらに、国際社会科学府経済学専攻の教員を志望指導教員とする外国人の出願者は、日本語能力試験の Ｎ１またはＮ２に合格したもの。ただし、出願資格（１）により出願する者のうち、当該大学での教育が日本語で行われた場合に限り、日本語能力試験の結果を提出する必要はありません。

(A) 大学卒業後、令和 9 年 3 月 31 日までに同一企業等に原則として 2 年以上正規職員として勤務した経験のある者

(B) 勤務先から在職のまま派遣され所属長の推薦状を提出できる者【(注２）参照】

(C) その他、当学環が社会人として認めた者【(注３）参照】

（注１） 基礎資格（２）における当学環入学の前までに学士の学位を授与される見込みの者とは主に、学位規則第 6 条第 1 項の規定に基づき大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものと認定した短期大学お

よび高等専門学校に置かれた専攻科修了見込みの者で、2026年10月までに大学改革支援・学位授与機構に学位の授与を申請する者です。

（注２） 要件（B）における派遣とは、所属企業及び公官庁、研究所等の派遣研修制度に基づく推薦を得て、在職のまま派遣されるものです。

（注３） 要件（C）により出願する者、出願資格（５）の２、及び（８）により出願する者については、入学資格審査を行いますので、次の書類を「横浜国立大学大学院先進実践学環係」へ提出してください。提出方法は、一般書留、簡易書留または特定記録などの配達状況を確認できる郵便で送付してください。日本国外から郵送する場合は、EMS（国際スピード郵便）等の配達経路を確認できる方法で発送してください。提出先の住所は、6ページを参照してください。

申請期間： 令和8年10月19日（月）～ 令和8年10月20日（火）【必着】

出願に必要な本学所定の書式は、当学環のウェブサイトからダウンロードして作成してください。
書式の印刷は、全て「A4サイズ・白色用紙」に「片面印刷」とします。

先進実践学環ウェブサイト ： https://ynuifgs.ynu.ac.jp/

（要件（C）、出願資格（５）の２、及び（８）によって出願を希望とする者が提出する書類）

提出書類	注意事項	書式番号
入学資格審査書類送付内訳書	・提出書類は、この用紙に記載されている通りの順番に並べて、封入してください。	Ｃ１
入学資格認定申請書・調書		Ｃ７
研究業績・実務経験等申告書	・詳細は、４．出願手続（３）を参照してください。	Ｃ８
研究（希望）計画書	・詳細は、４．出願手続（３）を参照してください。	Ｃ４
修学年数調書	・外国人留学生のみ提出してください。	Ｃ６
最終学歴の卒業（見込）証明書 または在学期間（見込）証明書	・出身（在籍）大学長または学部長が作成したものを提出してください。 ・外国人留学生は、学位証明書など取得学位が記載されているものを併せて提出してください。	－
最終学歴の成績証明書	・出身（在籍）大学長または学部長が作成したものを提出してください。	－

以上の提出書類に基づき書類審査を行い、審査の結果を令和8年10月23日（金）に電子メールで通知します。
資格を有すると認められた者は、所定の出願期間に手続きをしてください。

３．選抜方法

口述試験及び出願書類により、総合的に判断して行います。口述試験は、勉学意欲、研究業績、研究計画等に関して質疑応答を行い、研究に対する意欲や研究計画の妥当性を確認します。

（１）試験の科目及び日程

口述試験	令和８年 12 月５日（土）

※１ 口述試験の集合時間等は当学環のウェブサイトでお知らせします。

※２ 試験開始時刻に遅れた者は、受験できない場合があります。

（２）試験の実施場所

口述試験の実施場所	：	横浜国立大学構内（横浜市保土ケ谷区常盤台）
先進実践学環ウェブサイト	：	https://ynuifgs.ynu.ac.jp/

４．出願手続

（１）指導教員との事前相談について

志願者は、志望指導教員と出願前に必ず連絡を取り、入学後の研究等について相談を行ってください。

研究テーマによっては、選抜の結果、指導教員の選択は志願者の希望に添えない場合があります。

（２）出願の手続き

出願する者は、出願書類を角形２号（240㎜×332㎜）以上の封筒に封入して、封筒表面に宛名ラベル（書式Ｃ１１）を貼付の上、下記の期間に一般書留、簡易書留または特定記録などの配達状況を確認できる郵便で送付してください。

出願期間	：	令和８年 11 月２日（火）～令和８年 11 月６日（金）【必着】
先進実践学環ウェブサイト	：	https://ynuifgs.ynu.ac.jp/
提出先	：	〒240－8501 神奈川県横浜市保土ケ谷区常盤台 79－8 横浜国立大学大学院　先進実践学環係

※注意事項

・出願書類の受付は期間内必着とします。ただし、令和８年 11 月５日（木）までの発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理します。郵便事情等を十分考慮して早めに送付してください。

・出願書類に不備等がある場合は、出願を受理しませんので注意してください。

・日本国外から郵送する場合は、EMS（国際スピード郵便）等の配達経路を確認できる方法で発送してください。

・土曜日、日曜日・祝日は郵便業務を行わない郵便局があるので、事前に確認してください。

（３）出願書類

出願に必要な本学所定の書式は、当学環のウェブサイトからダウンロードして作成してください。書式の印刷は、全て「A4サイズ・白色用紙」に「片面印刷」とします。書類を書き損じた場合は、誤った箇所に二重線を引き、余白に正しい内容を記載してください。

先進実践学環ウェブサイト	：	https://ynuifgs.ynu.ac.jp/

出願書類等	注意事項	書式番号
出願書類送付内訳書	・出願書類は、この用紙に記載されている通りの順番に並べて封入してください。	C２
入学願書・受験票	・縦 40㎜×横 30㎜ 無帽、上半身正面、背景無地、出願前の３ヶ月以内に撮影した鮮明な写真（同一のもの２枚）を入学願書及び受験票に貼り付けてください。なお、アプリ等で加工・修正を施したものは使用できません。	C３－１ C３－２
研究（希望）計画書	・当学環において研究しようとするテーマ及び具体的内容について、文理融合・異分野融合の達成、Society5.0 の構築・維持・発展に資する研究方法や研究の意義を含めて、1,000 字以内の日本語で記入してください。	C４
卒業証明書 または 卒業見込証明書	・出身（在籍）大学長または学部長が作成したものを提出してください。 ・卒業証書の写しをもって代える場合は、出願前に卒業証書原本を窓口（先進実践学環係）に持参して「原本証明済みのコピー」の発行を受け、それを原本の代わりとして提出してください。 ・外国の大学を卒業した場合は、学位証明書など取得学位が記載されているものを併せて提出してください。（卒業証明書で、取得学位が確認できるものは不要とする） ・日本語または英語以外で作成された証明書は、日本語訳または英語訳を添付してください。	－
学士の学位授与（申請受理・申請予定）証明書（該当者のみ）	大学改革支援・学位授与機構、在籍する学校長等が日本語又は英語で作成したもの。（卒業証明書で、取得学位が確認できるものは不要とする）	－
成績証明書	・出身（在籍）大学長または学部長が作成したものを提出してください。 ・日本語または英語以外で作成された証明書は、日本語訳または英語訳を添付してください。 ・編入学等により認定されている科目がある場合又は短期大学及び高等専門学校の専攻科に進学した場合は、前学校（大学、短期大学、高等専門学校本科）の成績証明書を併せて提出してください。	－
入学検定料	・４.(4) 入学検定料及び24ページ「横浜国立大学大学院 入学検定料支払方法のご案内」を参照してください。	C５
日本語能力試験の成績（外国人留学生のみ）	国際社会科学府経済学専攻の教員を志望する者 ・日本語能力試験 N1、N2 のいずれかの成績証明書 ※日本国際教育支援協会の発行する「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」を提出する。コピー不可	－
受験及び就学承認書（出願時に職務を有する者のみ）	・出願時に職務を有する者は、勤務先の所属長等により、当社会人選抜の受験及び、選抜に合格した場合の当学環での就学を承認する書類を提出してください。（様式は任意） ・承認書には、志願者の当該勤務先での勤務開始年月日を記入してください。	－
在職証明書（出願時に職務を有しない者のみ）	・出願時に職務を有しない者は、過去の勤務先の所属長等により、勤務した期間を証明する書類を提出してください。（様式は任意）	－
人物推薦書	・現在または過去の勤務先の所属長等が作成し、志願者の勤務業績に対する評価を記載した推薦書を提出してください。（様式は任意） ・必要事項が記載されている場合に限り、人物推薦書は上記の「受験及び就学承認書」又は「在職証明書」と兼ねてもかまいません。	－
在留資格に関する証明（外国人留学生のみ）	・現在日本に居住している外国人留学生は、在留カードの写し（両面）を提出してください。その他の外国人留学生は、パスポートの写しを提出してください。	－

修学年数調書 (外国人留学生のみ)	・出願資格（1）による出願者は提出不要です。	C６
研究業績・実務経験等申告書	・現在までに携わった研究及び職務について記入してください。	C８
受入内諾書 (外国人留学生のみ)	理工学府の教員を志望する者 ・希望指導教員の署名を得たうえで提出してください。 ・希望指導教員の署名は、原本でなくてもかまいません。	C９
受験票発送用の返信用封筒及び切手	・発送先住所は日本国内に限ります。 長形３号封筒〔120 ㎜×235 ㎜〕に 410 円分の切手を貼付して【速達】と朱書きし、郵便番号、住所、氏名を明記してください。	－
受験票以外の書類の発送用の宛名ラベル	・郵便番号、住所、氏名を記入してください。	C１０
出願書類送付用の宛名ラベル	・住所、氏名、その他必要事項を記入してください。 ・本紙を封筒表面に貼り付けて郵送してください。	C１１
出願資格認定書 (該当者のみ)	・「２．出願資格（注３）」の入学資格審査を受けた者は、本学が証明した「入学資格認定書」を同封してください。	－

※「２．出願資格（注３）」の入学資格審査を受けた者は、入学資格審査申請時に提出した書類を再提出する必要はありません。

（4）入学検定料

・払込金額：30,000 円

・払込期間：出願期間に間に合うように払い込んでください。

・払込方法

① 日本国内から出願する者

・コンビニエンスストア（セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート）店内にある情報端末機を利用して手続きを行ってください。手続きの詳細は、24 ページ「横浜国立大学大学院 入学検定料支払方法のご案内」を参照してください。

・下記 URL からクレジットカードにより払うことが可能です。

e-apply 支払いウェブサイト：https://e-apply.jp/e/ynu-payment/

②日本国内から出願できない者（海外在住者）

下記 URL から、教育機関向けの国際的な送金サービス「Flywire」を利用し、クレジットカードもしくは銀行振込により払うことが可能です。

Flywire 支払いウェブサイト：https://www.flywire.com/pay/ynuni/

利用に際しては、Flywire のウェブサイトを確認し、不明な点はサポートデスクまでお問い合わせください。

Flywire ウェブサイト： https://www.flywire.com

Flywire サポートデスク： https://www.flywire.com/support

※ 注意事項

・ 入学検定料が払い込まれていない場合やその証明が提出されていない場合は、出願を受理しません。

・ 「Flywire」を利用する場合の学籍番号/受験番号欄には、「0」を入力してください。

・ 「Flywire」を利用した場合は、「支払い完了通知のメール画面を印刷したもの」を出願書類に同封してください。

・ 各支払に係る手数料は、志願者本人の負担となります。

※ 災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除特別措置について

本学では、災害等で被災した受験生の進学の機会を確保する観点から、入学検定料免除の特別措置を行います。詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。

https://www.ynu.ac.jp/exam/　（本学ウェブサイトトップページ＞入試情報＞大学院入試）

※ 入学検定料の返還請求について

・ 払込済の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

① 入学検定料を払い込んだが当学環に出願しなかった（出願書類等を提出しなかったまたは出願が受理されなかった。）場合

② 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

・ 入学検定料の返還を請求する場合は、先進実践学環係に問い合わせてください。返還請求の手続き方法を個別にお知らせします。

・ 返還額は、返還の際に要する手数料が差し引かれた額となります。

（5）受験票

・ 受験票は試験日の 10 日前までに届くように志願者宛に発送（郵送）します。

・ 試験日の 10 日前までに手元に届かない場合は、先進実践学環係（14 ページ参照）に連絡願います。

5．合格者発表

合格者発表は次の通り実施します。合格者には、合格者発表日に合格通知書を郵送します。

合格者発表日　：令和 8 年 12 月 18 日（金）　14 時頃

先進実践学環ウェブサイト　：　https://ynuifgs.ynu.ac.jp/

※注意事項

・合格通知書をもって、正式な通知とします。

・当学環のウェブサイトに、合格者の受験番号を掲載します。

・ウェブサイトでの掲載期間は、合格者発表日から 4 日間程度とします。

・合否結果に関する問い合わせには一切応じません。

6．入学手続

入学手続期間	：	令和 9 年 3 月 8 日（月）～令和 9 年 3 月 12 日（金）
入学時に必要な経費	：	入学料　２８２，０００円 【現行】
		授業料（半期）　２６７，９００円 【現行】
		授業料（年額）　５３５，８００円 【現行】

※　注意事項

・ 入学料・授業料の改定が行われた場合には、改定後の金額を徴収します。

・ 納入された入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

・ 手続きの詳細については、令和 9 年 1 月下旬頃（予定）に合格者宛へ必要書類を郵送します。

７．受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者の配慮申請について

心身の障がい等（視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、病弱、発達障がい、その他）により受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、次の（1）～（3）の内容を確認したうえで、下記の様式例を参考にして配慮申請書を作成し、先進実践学環係へ提出してください。

（1） 原則として出願前に申し出てください。配慮申請をしても、本学への出願が義務づけられるわけではありません。

（2） 不慮の事故等により配慮が必要となった場合は、出願後も申請を受け付けます。速やかに申し出てください。

（3） 申請の内容や時期によっては、希望通りに配慮ができない場合や、出願期間終了時までに配慮事項を決定できない場合があります。可能な限り早い時期に申し出てください。

（配慮申請書様式例（A4 判縦））

令和　年　月　日

横浜国立大学長　殿

フリガナ
氏　　名
生年月日
住　　所
電話番号
E-Mail

横浜国立大学大学院先進実践学環に入学を志願したいので、下記のとおり配慮の申請をします。

記

１．志願先・研究テーマ名：先進実践学環　研究テーマ名
２．出願を予定している入試名：社会人特別選抜
３．障がい等の種類・程度
４．受験上の配慮を希望する事項・内容
５．修学上の配慮を希望する事項・内容
６．出身学校在学中にとられていた配慮事項・内容
７．その他

（添付書類）医師の診断書（原本または写し）、身体障害者手帳の写し、その他参考資料

８．入学料及び授業料の免除・徴収猶予制度について

入学後の経済支援制度として、「入学料・授業料免除等制度」・「奨学金制度」等があります。詳細は学務・国際戦略部学生支援課ウェブサイトの奨学金・授業料/入学料免除のページを確認してください。

https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/expense/

９．大学院設置基準第１４条に定める教育方法の特例による教育の実施について（社会人学生に対する大学院教育の特例）

大学院設置基準（文部科学省令）第 14 条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されており、社会人等の就学に配慮がなされています。同条に定める教育方法の特例を、当学環での履修を希望する社会人学生（入学後も企業等に在職している者）に対して運用します。

【特例の内容】

（1） 修学年限（修士課程２年）のうち１年間は、原則として、全日登学をしてください。

（2）　特例による授業は平日の夜間に開設しますが、昼間の授業を含めた全時間帯の受講を許可します。

第５時限 16:15～17:45	（昼夜相互時間帯）
第６時限 17:50～19:20	（夜間時間帯）
第７時限 19:25～20:55	（夜間時間帯）

（3）　学業に専念する１年間は主として修士研究に充てられるように修了に必要な授業の単位修得は夜間の授業を利用して行うよう履修計画を立ててください。したがって、学業に専念する期間における昼間の受講は夜間に開講されていない授業に限ることが推奨されます。

（4）　入学に当たっては、指導教員の指導のもとに、２年間を見通した履修計画をたててください。

（5）　修学年限で修了するのが勤務の都合上無理な場合は、あらかじめ３～４年間にわたる履修計画をたてることも考慮してください（ただし、長期履修学生制度の適用は社会人特別選抜による入学者のみです）。

（6）　［特例」による履修計画の変更はその都度申し出て許可を得てください。

１０．長期履修学生制度について

長期履修学生とは、職業を有している等の事情により、標準修業年限（修士課程は２年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修して課程を修了することが認められた者をいいます。長期履修学生に認定された者は、一般の学生とは異なり、修学年数に関係なく（修士課程は２年以上４年まで）、標準修業年限分の授業料で修学することができます。以下（1）～（7）を参照の上、所定の手続きを取ってください。

（1）　申請資格

長期履修学生として申請することができる者は、社会人特別選抜に出願し合格した者で、入学後も職業を有している者とします。

（2）　申請の手続き

長期履修学生の申請を希望する者は、次の手順に従い手続きを行ってください。下記手続きのひとつでも怠ると審査の対象者とならないので注意してください。

①　出願前

志望指導教員に事前相談する際に、長期履修学生の適用を希望する旨を申し出てください。

②　出願時

入学願書の長期履修学生適用希望欄にチェックを入れてください。

③　入学手続時

「長期履修学生申請書」及び、「在職証明書」または「在職が確認できる書類」を、入学手続期間中に先進実践学環係へ提出してください。「長期履修学生申請書」の様式は、上記②の手続を行った者に対してのみ、入学手続書類に同封して送付します。

（3）　可否の認定

申請書類に基づき審査し、４月下旬頃に通知します。

（4）　在学期間

修士課程は２年以上４年までです。

（5）　授業料の年額

長期履修学生の授業料年額は、授業料の年額に標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を在学期間の年数で除した額です。ただし、在学中に授業料の改定が行われた場合には再計算された額となります。

算出例	博士課程前期（修士課程）の長期履修学生申請者が在学期間３年と認定された場合					
535,800 円	×	２年	÷	３年		=357,200 円
（授業料の年額）		（標準修業年限）		（認定された在学期間）		（長期履修学生の授業料年額）

（６） 在学期間の短縮

長期履修学生は、認定された在学期間を短縮することができます。在学期間の短縮を希望する者は、当該学年を修了する３ヶ月前までに「長期履修学生在学期間短縮願」を提出し、承認を得なければなりません。ただし、在学期間の短縮は１度に限ります。また、在学期間の短縮が許可された場合には、標準修業年限分の授業料からすでに納付済みの授業料を差し引いた分を一括で納付することになります。

（７） 在学期間の延長

長期履修学生で特別な事情がある場合は、在学期間の延長をすることができます。在学期間の延長を希望する者は、在学期間が満了する３ヶ月前までに「長期履修学生在学期間延長願」を提出し、承認を得なければなりません。ただし、在学期間の延長は１度に限ります。

なお、在学期間は４年を超えることができません。また、在学期間延長後の授業料は、標準修業年限（修士課程２年）分の授業料からすでに納付済みの授業料を差し引いた分を延長期間で新たに算出し、納付することになります。

１１．個人情報の取扱いについて

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人横浜国立大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

（１） 志願者の入学試験成績及び出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、以下の目的のために利用します。

①合格者への連絡業務（奨学金や保険等に係る福利厚生関係資料や入学後の行事等に関する書類の送付、生協資料の送付）及び入学手続き業務

②入学後のクラス編成及び本人の申請に伴う入学料免除（留学生を除く）・授業料免除等の福利厚生関係の資料

③入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）

④本学における広報・諸調査・研究（入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・分析を含む）

⑤入学者の個人情報について本学関連団体である校友会及び同窓会の入会手続きに必要な範囲で提供する場合があります。

調査・研究結果を発表する場合は、個人が特定できないように処理します。それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。

（２） 上記（１）の各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学により当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部または一部を提供します。

１２．安全保障輸出管理について

横浜国立大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人横浜国立大学安全保障輸出管理規則」を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から外国人留学生の受入れについては厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合がありますので、願書の提出の前に、指導教員予定者と相談するなど、出願にあたっては注意してください。なお、国籍を問わず入学者全員は、入学時に「外国為替及び外国貿易法」を遵守する誓約書に署名の上、提出していただきます。

詳細は、本学研究推進機構ウェブサイトに掲載している『安全保障輸出管理に基づく外国人留学生の取扱について』をご確認ください。

研究推進機構ウェブサイト ： https://www.ripo.ynu.ac.jp/researcher/start/security/

１３．不測の事態が生じた場合における措置について

公共交通機関の乱れや自然災害、人為災害や疫病・感染症等の影響などにより、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、先進実践学環のウェブサイトにてお知らせします。

なお、これらの不測の事態が生じた場合は、試験日程や選抜方法を変更したうえで、入学者の選抜を行うことがあります。出願期間後に変更等が生じた場合は、当学環のウェブサイトでお知らせするとともに、志願者宛に電子メールで通知します。

先進実践学環ウェブサイト ： https://ynuifgs.ynu.ac.jp

１４．その他注意事項

（1）入学資格審査手続後及び出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。

（2）出願書類等に関して大学から問い合わせをする場合は電話または電子メールで行います。入学願書等に記入するメールアドレスは、〈@ynu.ac.jp〉の電子メールを受信できるよう設定しておいてください。

（3）出願書類等は返却しません。

（4）出願書類に虚偽の記載・顔写真の加工があった場合や、試験中の不正行為が判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。また、不正行為の態様によっては、警察に被害届を提出する場合があります。

（5）提出された卒業証明書や成績証明書について、第三者による認証証明が必要だと本学が判断した場合には、志願者の費用負担で、本学が指定する認証機関において認証に係る審査を受けていただく場合があります。

（6）在留資格「留学」を取得するにあたっては、留学生生活を維持できる経済的基盤を有している必要があります。

（7）実施する試験のうち１つでも欠席した場合は、合格者とはなりません。

（8）以下の行為は、不正行為となります。不正行為があった場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験は出来ません。また、すでに受験した教科の成績は無効とします。

① カンニングをすること。また、他の受験者に答えを教える等カンニングの手助けをすること。

② 試験開始前に問題冊子を開いて解答を始めること。また、試験終了の指示に従わず、鉛筆等を持っていたり解答を続けていたりすること。

③ 試験時間中に問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。

④ 試験時間中に携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）・タブレット端末・電子辞書・IC レコーダー・イヤホン・音楽プレーヤー等の電子機器類や定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）・コンパス・電卓・そろばん・グラフ用紙等の補助具、教科書・参考書・辞書等の書籍類等を使用すること。

※通信機能のある電子機器類（携帯電話・スマートフォン・ウェラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）・タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていなければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります。）。

（9）以下の行為は、不正行為となることがあります。不正行為と認定された場合の取扱いは、上記（8）と同様で

す。

① 試験時間中に電子辞書・IC レコーダー・イヤホン・音楽プレーヤー等の電子機器類や定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）・コンパス・電卓・そろばん・グラフ用紙等の補助具、教科書・参考書・辞書等の書籍類等をカバンの中にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。

※通信機能のある電子機器類（携帯電話・スマートフォン・ウェラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）・タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていなければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります。）。

② 試験場、試験室及び控室において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。

③ 試験場、試験室及び控室において、監督者等の指示に従わないこと。

④ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

(10) 試験の実施に影響を与えるおそれがある場合や不正行為が疑われる場合に、監督者等が所持品を確認することがあります。

(11) 試験当日は、身分証明書（学生証・マイナンバーカード・パスポート・運転免許証・在留カード等（氏名及び生年月日の記載があり、顔写真付きで、試験日において有効なもの。））の持参を必須とします。不正行為が疑われる場合や受験票を持参し忘れた場合など、本人確認のために提示を求めることがあります。

問い合わせ先　：　横浜国立大学大学院 先進実践学環係
〒240－8501　横浜市保土ケ谷区常盤台79-8
Mail：ifgs-jimu@ynu.ac.jp

Ⅱ 先進実践学環学位プログラムのカリキュラム

第５期科学技術基本計画で Society 5.0 が提唱されて以来、その構築に貢献する人材養成が求められています。その近未来社会を安心安全で持続可能なものにするためには、AI やデータサイエンスの先端技術に加え、人間や社会に対する理解も重要です。先進実践学環学位プログラムでは、この社会ニーズに応えるために、文系と理系の部局が１つのキャンパスにあるという本学の特徴を生かした学修環境を提供します。

この学位プログラムでは、固定したカリキュラムを履修するのではなく、全学が提供する専門講義科目の中から、自身の研究テーマに合わせて、履修する授業を選択するようになっています。

入学当初に、研究テーマと指導教員グループを決定します。研究テーマは次の８つの中から選択し、指導教員グループと相談の上、具体的な研究内容と履修計画を立て、学修・研究活動を行います。

・応用 AI：AI などの先端的な情報技術に関する知識を修得し、社会や産業界における応用を研究する。
・社会データサイエンス：情報・統計処理を駆使して、現実の社会経済課題に対する解決策を研究する。
・リスク共生学：環境や社会における安心・安全を確保し、持続可能な社会の構築について研究する。
・国際ガバナンス：途上国・新興国開発や海事関連の幅広い知識と理論の実践について研究する。
・成熟社会：地域社会で急激な変化に伴い生じる課題に対し、エビデンスに基づいた法政策を研究する。
・人間力創生：人間固有の能力を高め、人間の文化的営みにおける新たな知や価値の創出について研究する。
・横浜アーバニスト：今日的な先端技術を取り入れ、都市の持続的発展と社会的課題の解決の両面を研究する。
・集積エレクトロニクスと社会展開：最先端半導体・量子技術や AI などの応用技術、社会応用について研究する。

専門講義科目は下の表にあるように 12 のカテゴリーに分類されています。学環共通科目「人間学通論」と「IT 技法通論」に加え、研究テーマごとに定められた条件（◎はそれぞれから２単位以上、合計８単位以上、○はいずれかから１単位以上）を満たすように専門講義科目を履修し、「演習」を通して指導教員から研究指導を受けます。その進捗状況や文理融合・異分野融合の度合いなどを確認するために、年に１回行われるワークショップにおいて中間発表を行い、最終的な研究成果を修士論文にまとめます。また、文理融合的な学修を進める上で不足している知識を補えるように、本学が提供する 3000 番台以下の授業（学部相当）を活用する「プレレキジット科目」も用意されています。

研究テーマ▼	AI・情報学	数理・統計学	医工連携	環境学	安心安全の科学	総合海洋学	都市科学	経済経営	国際関係	ビジネス法務	人間文化	地域連携
応用AI	◎	◎	○				○	○			○	
社会データサイエンス	○	◎					○	◎	○	○		
リスク共生学		○		◎	◎	○	○			○		
国際ガバナンス		○		○		○		○	◎			◎
成熟社会		○	○				○	○		◎	◎	
人間力創生	○	○			○		○				◎	◎
横浜アーバニスト		○		○	○		◎				○	◎
集積エレクトロニクスと社会展開	◎	○	◎	○	○			○				

所定の条件を満たすように授業を履修し、修士論文の発表会を経て最終審査に合格した者は、研究テーマに即した学修をしたことを証明する**学修証明書と「修士（学術）」の学位記**が修了時に授与されます。

詳細は、当学環ウェブサイト（https://ynuifgs.ynu.ac.jp/）を参照してください。

Ⅲ 先進実践学環の指導教員一覧

・各研究テーマの指導教員は、下記一覧の通りです。（複数の研究テーマを担当する教員もいます。）
・各教員の研究分野等の詳細は、本学ウェブサイトの研究者総覧で確認してください。　　研究者総覧 URL：https://er-web.ynu.ac.jp/search?m=home&l=ja
・**志願者は、志望指導教員と出願前に必ず連絡を取ってから出願してください。**研究者総覧に当該教員の連絡先が公開されていない場合は、先進実践学環係（14ページ参照）へ問い合わせてください。
・海外出張、その他の理由のため、◆印を付した教員を指導教員として今回志願することはできません。**（※本要項公表時点の一覧であり、今後変更となる場合があります。）**

１．応用AI

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野	試験区分
教授	太田　裕貴	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	次世代スマートデバイス分野	機械工学
教授	加藤　龍	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	医療福祉ロボット分野	機械工学
教授	佐藤　恭一	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	機械運動制御分野	機械工学
教授	前田　雄介	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	ロボット工学分野	機械工学
准教授	髙木　洋平	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶海洋工学分野	海洋空間システムデザイン
准教授	樋口　丈浩	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	航空機・衛星の誘導制御工学分野	海洋空間システムデザイン
准教授	渕脇　大海	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	ロボット工学・精密機械システム分野	機械工学
准教授	山崎　貴大	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	材料工学分野	材料科学フロンティア
教授	市毛　弘一	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	ディジタル回路・通信分野	電子情報システム
教授	久我　宣裕	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	マイクロ波工学分野	電子情報システム
教授	濱上　知樹	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	人工知能と社会システム分野	電子情報システム
教授	藤本　康孝	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	制御工学分野	電子情報システム
准教授	杉本　千佳	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	生体計測工学，知覚情報処理分野	電子情報システム
教授	岡嶋　克典　◆	環境情報学府	情報環境専攻	感覚知覚情報処理分野	情報学
教授	田中　秀毅	環境情報学府	情報環境専攻	英語学・対照言語学（意味論・統語論）分野	学環学術(HJ4)
教授	島　　圭介	環境情報学府	情報環境専攻	生体医工学，リハビリテーション科学分野	情報学
教授	白川　真一　◆	環境情報学府	情報環境専攻	知能情報学分野	情報学
教授	瀬川　悦生	環境情報学府	情報環境専攻	量子探索アルゴリズム分野	数理科学
教授	富井　尚志	環境情報学府	情報環境専攻	データ工学分野	情報学
教授	藤井　友比呂	環境情報学府	情報環境専攻	理論言語学分野	情報学術
教授	森　　辰則	環境情報学府	情報環境専攻	自然言語処理分野	情報学
教授	吉岡　克成	環境情報学府	情報環境専攻	ネットワークセキュリティ分野	情報学
准教授	佐々木　貴之	環境情報学府	情報環境専攻	サイバーセキュリティ・ユーザブルセキュリティ分野	情報学
教授	田名部　元成	国際社会科学府	経営学専攻	シミュレーション＆ゲーミング方法論分野	

准教授	五島　圭一	国際社会科学府	経営学専攻	ファイナンス，コンピュータサイエンス分野	
准教授	竹原　浩太	国際社会科学府	経営学専攻	金融工学・数理ファイナンスに関する分野	

２．社会データサイエンス

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野	
教授	池島　祥文	国際社会科学府	経済学専攻	農業経済学・地域農業開発分野	
教授	伊集　守直	国際社会科学府	経済学専攻	財政学・地方財政論分野	
教授	居城　琢	国際社会科学府	経済学専攻	地域経済論・産業連関論分野	
教授	氏川　恵次	国際社会科学府	経済学専攻	環境の産業連関分析分野	
教授	奥村　綱雄	国際社会科学府	経済学専攻	金融論・マクロ経済学・応用計量経済学分野	
教授	熊野　太郎	国際社会科学府	経済学専攻	ミクロ経済学・マーケットデザイン分野	
教授	佐藤　清隆	国際社会科学府	経済学専攻	為替レート・国際金融分野	
教授	佐野　隆司	国際社会科学府	経済学専攻	メカニズムデザイン・ゲーム理論分野	
教授	SHRESTHA NAGENDRA	国際社会科学府	経済学専攻	国際産業連関分析分野	
教授	相馬　直子	国際社会科学府	経済学専攻	社会政策学・福祉社会学分野	
教授	張　馨元	国際社会科学府	経済学専攻	新興アジア経済論・食料経済分野	
教授	永井　圭二	国際社会科学府	経済学専攻	数理統計学分野	
教授	西川　輝	国際社会科学府	経済学専攻	国際金融論分野	
教授	藤生　源子	国際社会科学府	経済学専攻	マクロ経済学・経済成長論分野	
教授	邉　英治	国際社会科学府	経済学専攻	日本経済史・金融史分野	
教授	松永　友有	国際社会科学府	経済学専攻	国際経済史・英国通商政策分野	
教授	山崎　圭一　◆	国際社会科学府	経済学専攻	途上国・ラテンアメリカ経済分野	
准教授	猪野　明生	国際社会科学府	経済学専攻	マクロ経済学，コーポレートファイナンス，財政学，銀行論分野	
准教授	小川　翔吾	国際社会科学府	経済学専攻	経済理論・マクロ経済学分野	
准教授	加藤　隆太	国際社会科学府	経済学専攻	計量経済学分野	
准教授	金澤　匡剛	国際社会科学府	経済学専攻	実証ミクロ経済学分野	
准教授	杉本　康太	国際社会科学府	経済学専攻	エネルギー・電力の応用計量経済学分野	
准教授	相馬　尚人	国際社会科学府	経済学専攻	マクロ経済学・金融政策論・計量時系列分析分野	
准教授	鶴岡　昌徳	国際社会科学府	経済学専攻	産業組織論・応用計量経済学分野	
准教授	出口　雄大	国際社会科学府	経済学専攻	日本近現代史・都市史分野	
准教授	古川　知志雄	国際社会科学府	経済学専攻	応用ミクロ経済学・公共経済学分野	
准教授	茂住　政一郎	国際社会科学府	経済学専攻	財政社会学・アメリカ財政史分野	
教授	青木　洋	国際社会科学府	経営学専攻	経営史・技術史分野	
教授	伊藤　有希	国際社会科学府	経営学専攻	金融市場，証券，金融リスクに関する分野	

教授	大雄　智	国際社会科学府	経営学専攻	会計測定とディスクロージャー分野	
教授	大沼　雅也	国際社会科学府	経営学専攻	イノベーション実現プロセスにおける知識の形成と普及に関する分野	
教授	大森　明	国際社会科学府	経営学専攻	環境問題，資源問題，社会問題に対する会計分野	
教授	小川　慎一　◆	国際社会科学府	経営学専攻	雇用や労働，働きかたに関する社会学分野	
教授	貴志　奈央子　◆	国際社会科学府	経営学専攻	産業育成に向けた科学技術政策に関する分野	
教授	君島　美葵子	国際社会科学府	経営学専攻	管理会計・原価計算に関する分野	
教授	木村　晃久	国際社会科学府	経営学専攻	財務会計分野	
教授	公文　蔵人	国際社会科学府	経営学専攻	戦前期日本における大企業体制の形成過程に関する分野	
教授	倉田　久	国際社会科学府	経営学専攻	サプライチェーン・マネジメント分野	
教授	郭　沛俊	国際社会科学府	経営学専攻	意思決定理論とオペレーションズ・リサーチ分野	
教授	河野　英子	国際社会科学府	経営学専攻	組織内外の関係に基づく能力形成・イノベーション・制度化に関する分野	
教授	鈴木　定省	国際社会科学府	経営学専攻	オペレーションズマネジメントおよび顧客価値創造に関する分野	
教授	孫　穎	国際社会科学府	経営学専攻	環境経営・環境経済学分野	
教授	高井　文子	国際社会科学府	経営学専攻	イノベーションと企業戦略に関する分野	
教授	竹内　竜介　◆	国際社会科学府	経営学専攻	多国籍企業の海外現地事業発展プロセスに関する分野	
教授	高橋　賢	国際社会科学府	経営学専攻	管理会計・原価計算の計算構造理論，原価配分理論分野	
教授	田名部　元成	国際社会科学府	経営学専攻	シミュレーション＆ゲーミング方法論分野	
教授	鶴見　裕之	国際社会科学府	経営学専攻	計量的なアプローチを用いたマーケティング及び流通に関する分野	
教授	原　俊雄	国際社会科学府	経営学専攻	簿記および財務会計の理論・制度・歴史に関する分野	
教授	二神　枝保	国際社会科学府	経営学専攻	戦略的人的資源管理に関する分野	
教授	前山　政之	国際社会科学府	経営学専攻	公認会計士による財務諸表監査および内部統制監査に関する分野	
教授	谷地　弘安　◆	国際社会科学府	経営学専攻	ICT 産業における市場・競争戦略，技術マーケティングに関する分野	
教授	山岡　徹	国際社会科学府	経営学専攻	組織変革マネジメントに関する分野	
教授	横澤　公道	国際社会科学府	経営学専攻	国際経営・生産管理分野	
准教授	岩本　大輝	国際社会科学府	経営学専攻	経営施策効果検証および統計科学分野	
准教授	岡部　考宏	国際社会科学府	経営学専攻	解析学分野	
准教授	五島　圭一	国際社会科学府	経営学専攻	ファイナンス，コンピュータサイエンス分野	
准教授	佐々木　秀綱　◆	国際社会科学府	経営学専攻	実験手法を用いた組織行動分野	
准教授	軸屋　泰隆	国際社会科学府	経営学専攻	起業家精神，ベンチャービジネス，スタートアップエコシステム分野	
准教授	曹　勁	国際社会科学府	経営学専攻	サステナビリティ会計，生態会計，環境会計分野	
准教授	竹原　浩太	国際社会科学府	経営学専攻	金融工学・数理ファイナンスに関する分野	
准教授	楊　芸玥　◆	国際社会科学府	経営学専攻	国際人的資源管理と組織行動分野	
准教授	吉川　りさ	国際社会科学府	経営学専攻	応用言語学・第二言語習得分野	
講師	罇　涼稀	国際社会科学府	経営学専攻	簿記・管理会計・機械学習分野	

講師	横田　一貴　◆	国際社会科学府	経営学専攻	イノベーションと経営資源に関する分野	
教授	君塚　正臣　◆	国際社会科学府	国際経済法学専攻	憲法分野	
教授	周佐　喜和　◆	環境情報学府	人工環境専攻	イノベーションマネジメント分野	社会環境
教授	安本　雅典	環境情報学府	人工環境専攻	イノベーション戦略論分野	安全環境工学、環境学、社会環境
准教授	遠藤　聡	環境情報学府	人工環境専攻	地域イノベーション政策論分野	環境学、社会環境
准教授	奥山　尚子	環境情報学府	人工環境専攻	応用ミクロ経済学，応用計量経済学，公共政策論分野	環境学、社会環境
准教授	髙木　彩	環境情報学府	人工環境専攻	社会心理学，リスク心理学分野	環境学、社会環境
教授	茨木　貴徳	環境情報学府	情報環境専攻	非線形関数解析学・凸解析学分野	学環学術(HJ4)
教授	小関　健太	環境情報学府	情報環境専攻	グラフ理論，グラフアルゴリズム分野	数理科学
教授	四方　順司	環境情報学府	情報環境専攻	情報理論，暗号理論分野	情報学、数理科学
教授	中本　敦浩	環境情報学府	情報環境専攻	離散数学分野	数理科学
教授	野間　淳	環境情報学府	情報環境専攻	代数幾何学分野	数理科学
教授	原下　秀士	環境情報学府	情報環境専攻	代数学分野	数理科学
教授	山田　貴博	環境情報学府	情報環境専攻	計算力学分野	情報学、情報学術
准教授	牛越　恵理佳	環境情報学府	情報環境専攻	解析学，偏微分方程式論分野	数理科学
准教授	白崎　実	環境情報学府	情報環境専攻	計算流体力学分野	情報学、数理科学、情報学術
准教授	松井　和己	環境情報学府	情報環境専攻	計算力学分野	情報学、情報学術
准教授	山形　紗恵子	環境情報学府	情報環境専攻	幾何学的群論分野	学環学術(HJ4)

３．リスク共生学

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野	
教授	荒木　拓人	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	次世代エネルギーデバイス分野	機械工学
教授	太田　裕貴	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	次世代スマートデバイス分野	機械工学
教授	岡田　哲男　◆	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶海洋工学分野	海洋空間システムデザイン
教授	尾崎　伸吾	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	材料強度分野	機械工学
教授	川村　恭己	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶海洋工学，構造情報システム，リスク評価等の分野	海洋空間システムデザイン
教授	西　佳樹	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	海洋環境工学分野	海洋空間システムデザイン
教授	長谷川　誠	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	材料強度制御分野	材料科学フロンティア
教授	廣澤　渉一	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	構造材料設計分野	材料科学フロンティア
教授	丸尾　昭二	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	付加製造・微細加工分野	機械工学
教授	向井　剛輝	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	光・量子材料工学分野	材料科学フロンティア
教授	宮路　幸二	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	高速気流の数値解析の航空宇宙機への適用分野	海洋空間システムデザイン
教授	村井　基彦	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	海洋工学分野	海洋空間システムデザイン
准教授	大竹　充	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	磁性・スピントロニクス材料分野	材料科学フロンティア

准教授	髙木　洋平	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶海洋工学分野	海洋空間システムデザイン
准教授	中津川　博	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	熱電エネルギー変換材料分野	材料科学フロンティア
准教授	平川　嘉昭	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶海洋工学分野	海洋空間システムデザイン
准教授	前野　智美	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	塑性加工および生産加工分野	材料科学フロンティア
准教授	満行　泰河	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶などの大規模構造物を対象としたシステム設計分野	海洋空間システムデザイン
准教授	李　僑	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶海洋工学分野	海洋空間システムデザイン
教授	岡　泰資　◆	環境情報学府	人工環境専攻	火災の科学と防火技術分野	安全環境工学
教授	笠井　尚哉	環境情報学府	人工環境専攻	材料のリスク管理分野	安全環境工学、環境学
教授	亀屋　隆志	環境情報学府	人工環境専攻	環境安全学分野	安全環境工学、環境学、社会環境
教授	熊崎　美枝子	環境情報学府	人工環境専攻	エネルギー物質化学と化学反応プロセスの制御技術分野	安全環境工学
教授	小林　剛	環境情報学府	人工環境専攻	環境安全学分野	安全環境工学、環境学、社会環境
教授	坂本　智	環境情報学府	人工環境専攻	精密加工学・砥粒加工学・切削加工学分野	学環学術(HG4)
教授	薩本　弥生	環境情報学府	人工環境専攻	被服環境学（衛生・構成・材料・心理・服育含）分野	学環学術(HG4)
教授	澁谷　忠弘	環境情報学府	人工環境専攻	機械システムのリスク管理分野	安全環境工学、社会環境
教授	多々見　純一	環境情報学府	人工環境専攻	セラミックス分野	安全環境工学、環境学
教授	松宮　正彦	環境情報学府	人工環境専攻	応用電気化学，抽出分離化学	安全環境工学、環境学
教授	松本　真哉	環境情報学府	人工環境専攻	機能性色素化学，有機結晶化学，ライフサイクル思考を基礎とした環境教育分野	安全環境工学、環境学
准教授	飯島　志行	環境情報学府	人工環境専攻	粉体材料プロセス工学分野	安全環境工学、環境学
助教	平岩　尚樹	環境情報学府	人口環境専攻	宇宙機の軌道設計，アストロダイナミクス，力学系理論分野	安全環境工学
教授	石川　正弘	環境情報学府	自然環境専攻	地球システムの視点から地球ダイナミクスとテクトニクス分野	生態学、地球科学
教授	鏡味　麻衣子	環境情報学府	自然環境専攻	水域生態学分野	生態学、地球科学、環境学術
教授	河潟　俊吾	環境情報学府	自然環境専攻	海洋地質学・微古生物学・古海洋学分野	学環学術(HH4)
教授	倉田　薫子	環境情報学府	自然環境専攻	生物多様性・植物系統分類・植物地理分野	学環学術(HH4)
教授	酒井　暁子	環境情報学府	自然環境専攻	植物生態学および環境保全学分野	生態学、地球科学、環境学術
教授	佐々木　雄大	環境情報学府	自然環境専攻	生物多様性保全学および都市生態学分野	生態学、地球科学、環境学術
教授	下出　信次	環境情報学府	自然環境専攻	海洋環境学の視点から生物海洋学分野	生態学、地球科学
教授	中森　泰三	環境情報学府	自然環境専攻	生物の生態学的特性と環境の関係分野	生態学、地球科学、環境学術
教授	筆保　弘徳	環境情報学府	自然環境専攻	熱帯気象学・台風・防災分野	学環学術(HH4)
教授	山本　伸次	環境情報学府	自然環境専攻	地球物質循環と地質学分野	生態学、地球科学
教授	吉田　龍二	環境情報学府	自然環境専攻	気候学・気象学分野	生態学、地球科学
教授	和仁　良二	環境情報学府	自然環境専攻	古生物学と古生態学分野	生態学、地球科学
准教授	中村　達夫	環境情報学府	自然環境専攻	植物分子生理学および高機能植物の育種分野	生態学、地球科学
講師	中臺 亮介	環境情報学府	自然環境専攻	生態学・生物多様性科学分野	生態学、地球科学、環境学術
教授	吉岡　克成	環境情報学府	情報環境専攻	ネットワークセキュリティ分野	情報学

准教授	佐々木　貴之	環境情報学府	情報環境専攻	サイバーセキュリティ・ユーザブルセキュリティ分野	情報学
教授	石﨑　由希子	国際社会科学府	国際経済法学専攻	労働法分野	
教授	内海　朋子	国際社会科学府	国際経済法学専攻	刑法分野	

４．国際ガバナンス

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野	
講師	李　　佳蓉	国際社会科学府	経営学専攻	企業の社会的責任・非市場戦略分野	
教授	笹岡　愛美	国際社会科学府	国際経済法学専攻	商法・海事法・宇宙法分野	
教授	志賀　裕朗	国際社会科学府	国際経済法学専攻	国際行政論と国際開発学分野	
教授	関根　豪政　◆	国際社会科学府	国際経済法学専攻	経済法分野	
准教授	小林　誉明	国際社会科学府	国際経済法学専攻	開発協力政策分野	
准教授	酒井　春花	国際社会科学府	国際経済法学専攻	国際租税法分野	
准教授	藤田　大智	国際社会科学府	国際経済法学専攻	国際法・国際環境法分野	
教授	岡田　哲男　◆	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶海洋工学分野	海洋空間システムデザイン
教授	村井　基彦	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	海洋工学分野	海洋空間システムデザイン
教授	安本　雅典	環境情報学府	人工環境専攻	イノベーション戦略論分野	安全環境工学、環境学、社会環境
教授	藤掛　洋子	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	国際支援政策，開発人類学分野	地域社会系問題（人文社会科学分野）

５．成熟社会

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野	
教授	相馬　直子	国際社会科学府	経済学専攻	社会政策学・福祉社会学分野	
准教授	石田　満恵	国際社会科学府	経営学専攻	サステナビリティ経営・CSR(Corporate Social Responsibility)分野	
講師	李　　佳蓉	国際社会科学府	経営学専攻	企業の社会的責任・非市場戦略分野	
教授	石﨑　由希子	国際社会科学府	国際経済法学専攻	労働法分野	
教授	板垣　勝彦	国際社会科学府	国際経済法学専攻	行政法分野	
教授	金子　章	国際社会科学府	国際経済法学専攻	刑訴法分野	
教授	芳賀　良	国際社会科学府	国際経済法学専攻	会社法分野	
教授	濱口　太久未	国際社会科学府	国際経済法学専攻	知的財産法分野	
教授	渡邉　拓	国際社会科学府	国際経済法学専攻	民法・契約法分野	
准教授	山本　展彰	国際社会科学府	国際経済法学専攻	法哲学分野	
講師	原田　弘隆	国際社会科学府	国際経済法学専攻	民法・財産法分野	

講師	柳迫　周平　◆	国際社会科学府	国際経済法学専攻	民法・家族法分野	
教授	藤岡　泰寛	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	建築計画，バリアフリー，持続型集住計画分野	建築系問題
准教授	守田　正志	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	西洋建築史，イスラーム建築史，都市史分野	建築系問題

６．人間力創生

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野	
教授	平倉　圭	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	芸術学，美学，芸術文化分野	都市文化系問題
教授	新谷　康浩	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	教育社会学（教育と職業）分野	地域社会系問題（人間力創生分野）
教授	髙芝　麻子	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	中国古典文学分野	地域社会系問題（人間力創生分野）
教授	棚橋　信明	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	ヨーロッパ近現代史分野	地域社会系問題（人間力創生分野）
教授	多和田　雅保	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	日本前近代史分野	地域社会系問題（人間力創生分野）
教授	藤井　佳世	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	教育哲学・人間形成論分野	地域社会系問題（人間力創生分野）
教授	松本　尚之	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	文化人類学分野	地域社会系問題（人文社会科学分野）

７．横浜アーバニスト

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野	
教授	大野　敏　◆	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	日本建築史，保存修復分野	建築系問題
教授	河端　昌也	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	建築構造，大空間構造分野	建築系問題
教授	野原　卓	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	都市デザイン、都市居住環境分野	建築系問題
教授	藤岡　泰寛	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	建築計画，バリアフリー，持続型集住計画分野	建築系問題
准教授	稲垣　景子	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	都市防災計画分野	建築系問題
准教授	志村　真紀	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	地域・都市デザイン，建築意匠，まちづくり，デザイン学分野	建築系問題
准教授	守田　正志	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	西洋建築史，イスラーム建築史，都市史分野	建築系問題
准教授	矢吹　剣一	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	都市計画，都市デザイン，共創まちづくり分野	建築系問題
准教授	尹　荘植	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	都市計画，まちづくり分野	建築系問題
教授	田名部　元成	国際社会科学府	経営学専攻	シミュレーション＆ゲーミング方法論分野	

８．集積エレクトロニクスと社会展開

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野	
教授	井上　史大	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	デバイスマニュファクチュアリング分野	機械工学
教授	于　強	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	計算力学，材料力学分野	機械工学

教授	太田　裕貴	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	次世代スマートデバイス分野	機械工学
教授	丸尾　昭二	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	付加製造・微細加工分野	機械工学
教授	向井　剛輝	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	光・量子材料工学分野	材料科学フロンティア
准教授	大竹　充	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	磁性・スピントロニクス材料分野	材料科学フロンティア
准教授	渕脇　大海	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	ロボット工学・精密機械システム分野	機械工学
准教授	山崎　貴大	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	材料工学分野	材料科学フロンティア
助教	田村　和輝	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	計測工学分野	機械工学
助教	真部　研吾	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	複合材料、ソフトマター分野	機械工学
教授	荒川　太郎	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	半導体，光エレクトロニクス	電子情報システム
教授	大矢　剛嗣	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	電子デバイス・電子機器，電子・電気材料工学分野	電子情報システム
教授	片山　郁文	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	テラヘルツ及び超高速分光分野	物理工学
教授	洪　鋒雷	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	超精密分光・量子計測分野	物理工学
教授	小坂　英男	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	量子コンピュータ，量子通信，量子情報処理分野	物理工学
教授	関口　康爾	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	スピントロニクス，マグノニクス，エナジーハーベスティング分野	電子情報システム
教授	竹村　泰司	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	バイオ医療マグネティックス，磁気工学分野	電子情報システム
教授	西口　克彦	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	単一電子エレクトロニクス，トランジスタ，半導体工学，非平衡統計分野	電子情報システム
教授	馬場　俊彦　◆	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	光エレクトロニクス，ナノフォトニクス，集積フォトニクス，IoT センサ分野	電子情報システム
教授	堀切　智之	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	量子情報，量子光学分野	物理工学
教授	山梨　裕希	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	電子デバイス・電子機器，電子・電気材料工学分野	電子情報システム
教授	吉川　信行　◆	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	集積回路，電子デバイス，超伝導エレクトロニクス分野	電子情報システム
准教授	柯　　夢南	理工学府	数部・電子情報系理工学専攻	電気電子材料工学、電子デバイス、半導体プロセス工学、MOSFET 分野	電子情報システム
准教授	島津　佳弘	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	半導体・超伝導微細デバイス，超伝導量子効果デバイス分野	物理工学
准教授	田原　弘量	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	レーザー分光，光電変換，半導体光物性，量子物性分野	物理工学
准教授	西島　喜明	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	プラズモニクス，光エレクトロニクス，ナノ光センサー，光熱エネルギー変換分野	電子情報システム
准教授	馬場　基彰	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	光量子物理学理論	物理工学
准教授	水野　洋輔	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	センシングフォトニクス，光ファイバ工学，非線形光学，光エレクトロニクス分野	電子情報システム
教授	真鍋　誠司　◆	国際社会科学府	経営学専攻	イノベーションおよび製品開発論分野	

入学検定料　コンビニ支払方法のご案内

入学検定料をコンビニエンスストアにて払い込む場合は、
下記のコンビニ端末を操作の上、レジにてお支払いください。

1 お申込み

セブン-イレブン マルチコピー機

https://www.sej.co.jp

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の**「学び・教育」**よりお申込みください。

学び・教育
↓
入学検定料等支払
▼

LAWSON Loppi / MINISTOP Loppi

https://www.lawson.co.jp
https://www.ministop.co.jp

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。

TOP画面の**「各種サービスメニュー」**よりお申込みください。

「各種申込（学び）」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大、専門、小・中・高校等お支払い
▼

あなたと、コンビに、FamilyMart マルチコピー機

https://www.family.co.jp

最寄りの「ファミリーマート」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の**「保険／学び・教育」**よりお申込みください。

保険／学び・教育
↓
学び・教育
↓
大学・短大・大学院 入学検定料支払いサービス
▼

横浜国立大学 をタッチし、申込情報を入力して**「払込票／申込券」**を発券ください。

＊画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

①コンビニの<u>レジ</u>でお支払いください。

端末より「払込票」（マルチコピー機）または「申込券」（Loppi、マルチコピー機）が出力されますので、
<u>30分以内にレジにて</u>お支払いください。

＊お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
＊お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
＊すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料	入学検定料（5万円未満）1件につき	税込 550円

注）前期日程及び後期日程の両方に出願する場合は、2件分の払込手数料がかかります。

（セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ）

②お支払い後<u>チケット</u>と<u>レシート</u>の2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」（マルチコピー機）または「払込受領証」（Loppi）。

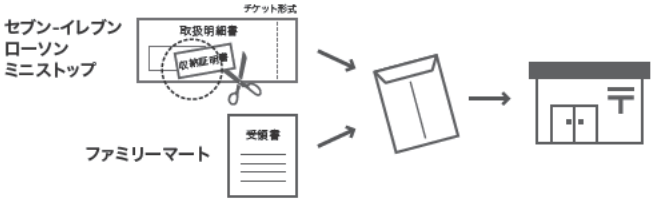
（ファミリーマート）

②お支払い後<u>レシート</u>（受領書）をお受け取りください。

3 出願

「取扱明細書」または「払込受領証」の場合、「収納証明書」部分を切り取り、「レシート」の場合、レシートをコピーして本体を入試要項などの指示に従って郵送してください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター　https://e-apply.jp/　※コンビニ店頭ではお応えできません。

Campus Map

キャンパスマップ

学食・カフェ
売店（コンビニ）
ATM
学部・大学院学生窓口
証明書自動発行機
AED設置場所
駐輪場
駐車場
バス停留所
学内バス停留所

バリアフリートイレ
MAP上の建物番号の○に、色が塗られている施設に設置

例）バリアフリートイレ　有：❶　無：①

メインストリートを境に北側をNエリア
南側をSエリアと表しています。

事務局

N1
- ❶ 納品検収センター

N2
- ❶ 本部東棟（1階 入試課）
- ❷ 本部棟（1階 授業料等収納窓口）
- ❸ 本部西棟
- ❹ 事務局車庫

S1
- ❶ 守衛所

S5
- ❶ 学生センター
  - 1階：保健管理センター、ナビ・ポート
  - 2階：学生支援課、教育企画課、グローバル推進課、なんでも相談室（障がい学生支援室）、グローバル・サポートデスク
  - 3階：キャリア・サポートルーム、ハラスメント相談室、先進実践学環係、留学生就職支援デスク

教育学部／教育学研究科

S2
- ❷ 教育学部講義棟7号館
- ❸ 教職大学院／教育学部附属教育デザインセンター

S3
- ❶ 教育学部講義棟6号館
- ❷ 教育学部第1研究棟
- ❸ 教育学系事務棟
  - ［学生窓口］2階 学務係（学部）／大学院係（大学院）
- ❹ 教育学部第2研究棟
- ❺ 教育学部別棟

S4
- ❶ 教育学部5号館（音楽棟）
- ❷ 教育学部4号館（美術棟）
- ❸ 教育学部第3研究棟

経済学部

N4
- ❶ 経済学部1号館［学生窓口］1階 経済学務係
- ❷ 経済学部講義棟1号館
- ❸ 経済学部講義棟2号館
- ❹ 経済学部新研究棟

経営学部

N3
- ❶ 経営学研究棟
- ❸ 経営学部講義棟2号館
- ❹ 経営学部1号館［学生窓口］1階 経営学務係
- ❺ 経営学部講義棟1号館

国際社会科学府・国際社会科学研究院

N3
- ❷ 国際社会科学研究棟
- ❹ 経営学部1号館［学生窓口］1階 大学院学務係

N4
- ❺ 法学研究棟

理工学部／理工学府・工学研究院

N6
- ❶ 電子情報工学2号棟
- ❷ 電子情報工学棟
- ❸ 機械変電室
- ❹ 機械工学2号棟
- ❺ 機械工学・材料棟
- ❻ 材料工学実験棟

N7
- ❸ 特別高圧実験棟
- ❻ 機械工場A棟
- ❼ 機械工場B棟
- ❾ 機械工学実験棟

N8
- ❶ 低温工学棟
- ❸ エネルギー工学棟
- ❹ 理工学系事務棟
  - ［学生窓口］2階 理工学部教務係／理工学府係
- ❺ 化工・安工棟
- ❻ 危険物屋内貯蔵所

N10
- ❶ 船舶海洋工学棟
- ❷ 大型水槽実験棟
- ❸ 船舶海洋実験棟

S5
- ❸ 理学研究棟
- ❺ 理工学部講義棟A
- ❻ 工学基礎研究棟
- ❼ 理工学部講義棟A（107）
- ❽ 理工学部講義棟B
- ❾ 理工学部講義棟C

S7
- ❶ 大学院工学研究棟
- ❷ 生物・電子情報棟

理工学部／理工学府・工学研究院

S7
- ❻ 化学棟

S9
- ❶ 総合研究棟 W棟

環境情報学府・環境情報研究院

S6
- ❶ 環境情報4号棟
- ❸ 環境情報3号棟

S7
- ❺ 環境情報1号棟［学生窓口］2階 環境情報学府係

S9
- ❶ 総合研究棟 S棟・E棟

都市科学部／都市イノベーション学府・都市イノベーション研究院

N5
- ❶ 建築構造実験棟
- ❷ 建築材料・環境実験棟
- ❸ 建築学棟

S2
- ❶ 都市科学部講義棟

S5
- ❻ 工学基礎研究棟
  - ［学生窓口］1階 都市科学部学務係／都市イノベーション学府係

S8
- ❷ 土木構造実験棟
- ❸ 土木工学棟
- ❹ 水理実験棟

先進実践学環

S5
- ❶ 学生センター［学生窓口］3階 先進実践学環係

全学教育研究施設等

N2
- ❸ ダイバーシティ戦略推進本部・男女共同参画部門、成長戦略教育研究センター、D&I教育研究実践センター

N4
- ❶ 地域実践教育研究センター

N7
- ❷ 全学共用棟B
- ❹ グリーン水素研究棟
- ❺ 全学共用棟A

N8
- ❷ 機器分析評価センター

N9
- ❷ 研究推進機構、URA育成教育研究センター

S1
- ❷ 教育文化ホール
- ❸ 国際教育センター

S5
- ❷ 教育推進機構、国際戦略推進機構
- ❹ 情報基盤センター（MDA教室）

S6
- ❷ 全学共用棟D
- ❹ 全学共用棟C

S7
- ❹ 高等研究院棟、先進化学エネルギー研究センター、量子情報研究センター、台風科学技術研究センター、豊穣な社会研究センター、次世代ヘルステクノロジー研究センター、半導体・量子集積エレクトロニクス研究センター

S8
- ❶ RI教育研究施設

S9
- ❶ 産学官連携研究施設

附属図書館

S3
- ❻ 中央図書館

管理施設

N7
- ❶ エネルギーセンター

N9
- ❶ 排水浄化センター

厚生施設

N10
- ❹ Sガーデン（コンビニエンスストア）
- ❺ 第2食堂、大学生協

S1
- ❹ 第1食堂（シェルシュ）
- ❺ 大学会館、大学生協本部

運動・課外活動施設

S0
- ❶ 体育サークル会館
- ❷ 運動場管理棟

S1
- ❻ 文化サークル共用施設
- ❼ 体育館・武道館
- ❽ 弓道場射場